

東京農業大学



湘南稲桜会だより

発行 東京農業大学 校友会神奈川県支部 湘南稲桜会 発行責任者 松居靖雄
事務局 〒238-0032 横須賀市平作4-1-9 清水圭一方 TEL 046-854-0044

令和7年度湘南稲桜会定期総会

令和7年5月17日(土)午後1時より、横須賀市産業交流プラザにて湘南稲桜会定期総会が開催されました。講師1名、会員12名が出席し、和やかな雰囲気の中で進行しました。

総会は清水事務局長の司会により、小清水副会長の開会のことば、松居会長のご挨拶に続いて議案審議へと移りました。

令和6年度の事業報告・収支決算報告、令和7年度の事業計画・収支予算案について審議が行われ、いずれも異議なく原案通り承認されました。また、アンケート結果、役員の一部変更についての報告がありました。

第2部：記念講演

続いて行われた記念講演では、東京農業大学農学部農学科教授・高畑健先生をお迎えし、『「農大ブランド果実」として研究開発を進めているペピーノを厚木市の特産品化へ」と題してご講演いただきました。

ペピーノは南米原産の果実で、糖度を高める栽培

方法を確立して、新しい果物として商品化する取り組みや、厚木市・地元農協との共同開発について、興味深いお話を伺いました。講演後には多くの質問が寄せられ、先生には丁寧にご回答いただき、非常に有意義な時間となりました。

参加者全員でペピーノの果実を試食し、メロンと洋ナシを思わせる爽やかで甘い味に感動しました。東京農大とJAあつぎのコラボ商品「ペピーノグミ」や「ペピーノサイダー」も好評でした。

第3部：懇親会

記念撮影の後、会場をメルキュール横須賀へ移し、関副会長の司会により懇親会が開催されました。小清水副会長の発声による乾杯の後、高畑先生にもご参加いただき、和やかな懇談が続きました。

出席者全員による自己紹介と近況報告では、笑顔と笑いが絶えず、会の絆を深めるひとときとなりました。最後は全員で学歌を斉唱し、午後5時に散会となりました。

今回ご参加いただけなかった会員の皆様も、ぜひ来年の総会にはご出席くださいますよう、心よりお待ちしております。(事務局)



神奈川県支部湘南稲桜会令和7年度総会 5月17日



高畑教授の講演



ペピーノの果実



ペピーノグミとペピーノサイダー

〈会員からの投稿〉 〈湘南稲桜会の皆様、こんにちは〉

齋藤道生 (H13 院工修)

私は現在、東京都立園芸高等学校にて農業科の教員を務めております、齋藤道生(さいとうみちたか)と申します。平成11年度に農業工学科を卒業し、平成13年度に大学院農業工学専攻を修了しました。この度は、農大卒業生として、そして教育現場に立つ者として、こうして「湘南稲桜会だより」に寄稿の機会をいただきましたことを、大変光栄に思っております。10年ほど前にも伊豆大島の都立大島高校の教員として寄稿させていただきました。

さて、私の勤め先である都立園芸高校は、世田谷区の都市部にありながら「農」を学ぶことができる貴重な教育機関です。現在、東京都内の農業科高校は、園芸高校の他に、葛飾区の農産高校、杉並区の農芸高校、府中市の農業高校、西多摩郡瑞穂町の瑞穂農芸高校、農業系の科目のある総合学科として青梅市の青梅総合高校(旧 農林高校)の6校と、島しょ地区に大島高校、三宅高校、八丈高校の3校があります。都立高校の農業科教員はこの9校を回りながら務めることになります。

園芸高校には、全日制課程に園芸科・食品科・動物科があり、定時制課程に園芸科があります。生徒たちは、野菜・果樹・草花・造園・食品・畜産など、幅広い分野に触れながら、実習を通して命の尊さや自然との向き合い方を学んでいます。

私自身、農大で培った「実学」の精神が、日々の授業や指導の中に深く根付いていることを実感しております。理論だけでなく、現場での経験を

重視する姿勢は、生徒たちにも大きな影響を与えていると感じます。農大時代には、研究室でのフィールドワークや仲間との語らいが、何よりの財産でした。あの頃の様々な経験(学びも遊びも)が、今の教育活動の土台となっていることを思うと、農大で過ごした時間の尊さを改めて感じます。

湘南稲桜会は、世代を越えて「農」を軸に人と人がつながる場であると感じております。教育現場にいますと、卒業生の皆様の経験や知識が、若い世代にとって大きな刺激となっていることを実感します。今後も、湘南稲桜会の皆様と研修会や懇親会などを通じて連携し、生徒たちに「農の現場」をより身近に感じてもらえる機会を創出できればと思っています。湘南稲桜会の皆様とともに、「農」の価値を次世代へとつなげていけるよう、今後も尽力してまいります。引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。



食品科1年「農業と環境」にてマルチシートの授業をしているところ

〈鎌倉のみどり〉

大川晶子 (S52 農芸化学科)

鎌倉に暮らして40数年、子育てが終わる頃から、市主催の緑の学校・緑のレンジャーの講座に参加し、鎌倉の自然の中に身を置き、その恵みを享受してきました。

緑の学校では、月1回の座学と生物の観察会があり、海辺を歩いての海浜植物や海草について学ぶ回もあり、動植物のおもしろさ不思議さに好奇心をそられました。その後公園や緑地の維持・管理に関する体験を中心に、緑の機能・植林地の現状を学ぶことを目的とした「緑のレンジャー・シニア」の講座に入れていただき、1年後、講座修了生で構成するNPO法人に入会し、緑地管理・樹木調査活動などのボランティアをさせていただきました。具体的には、公園緑地の剪定、枯れた木の伐採、下草刈り、毎木調査など斜面での作業もあり、ヘルメットをかぶり、危険の伴う作業もありました。数年で家族の介護のため、会を離れることになりましたが、貴重な体験をさせていただいたと思います。

鎌倉市の森林面積は、1284haで市域面積の約3割をしめ、このうち1068haが地域森林計画の対象となる民有林です。



御谷（おやつ）緑地

鎌倉市全域の自然植生は、日本の温帯地方の海岸部に共通する常緑広葉樹林体であるヤブツバキ域です。尾根筋の乾燥した地域はヤブコウジースダジイ群集、谷筋や沖積地はイノデタブ群集で合わせて84.6ha。代償植生は樹林地の多くがかつて薪炭林として利用されていたオニバシリーコナラ群集が773.4ha、戦後植林され、材価低落等により放置されたスギ・ヒノキ樹林が197.5haとなっています。

森林のはたらきには、材木等生産の他、土砂流出防止、水源を守る、防風・防音・防火、住環境の温度変化の緩和、二酸化炭素の吸収、森林による癒し効果等があり、私たちは森林から様々な恩恵を受けてくれていると言えます。

鎌倉では歴史的風土特別保存区域に989ha、近郊緑地保全区域に294ha、風致公園などに285haが指定され、生活空間を取り巻く身近な緑が都市環境の質を高める役割を果たしています。



十二所（じゅうにそ）果樹園

昭和39年の鶴岡八幡宮裏山の開発計画反対の市民運動（御谷騒動）を契機に、公益社団法人鎌倉風致保存会が設立され、日本最初のナショナルトラスト団体として御谷山林・笹目緑地・十二所果樹園・旧坂井邸緑地等で活動を続けています。開発から保全へとの平成17年以降の流れの中で、かまくら三大緑地として知られる広町（4831ha）台峯（28.7ha）常盤山（18ha）で市と市民との協働による維持管理が行われるようになり、中央公園では山崎・谷戸の会が地元の農文化を継承した保全活動を行っています。

しかし、2019年の台風15号・19号による崖崩や倒木被害からのハイキングコース復旧が遅れ、ナラ枯れ、表土の脆弱さによる根の発育不良からくる倒木などの山の荒廃に高齢化するボランティアの力では追いつけない状態です。

昨年のNHK「ダーウィンがきた」で放送された鎌倉のフクロウやカワセミたち生き物を育むみどりが、今後も私たちの生活を潤してくれることを願います。



〈研修会の開催結果について〉

令和7年3月15日（土）横須賀市衣笠町の「蝶のひろば」で創館者の長男水澤孝氏（平成14年畜産卒）の説明により充実した楽しい研修会が行われました。見学終了後JR衣笠駅近隣の居酒屋で懇親会を開き親睦を図りました。参加者は19名でした。



研修会「蝶のひろば」

〈会員の活動〉

横須賀市立市民活動サポートセンター主催の「引く手あまたのお父さんプロジェクト」の中でスタートした「お父さん厨房に入る（男の料理教室）」が当会監事の江間三恵子氏を講師として2014年にスタートしました。



スタート時の写真

スタート時は数人でしたがその後会員も増え女性も参加するようになり数年前から当会副会長の関恵梨子氏もアシスタントとして加わり、毎月第2金曜日に家族的な雰囲気の中で楽しい料理教室を開催されてきましたが、残念ながら今年の8月8日をもって終了になりました。長い間のご指導ありがとうございました。

〈投稿依頼について〉

昨年実施したアンケートでは、「湘南稲桜会だよりを年2回発行して盛り上げて欲しい!」という声がたくさん寄せられました。

これまでの記事は役員が取材・執筆、会員皆様のご協力により行ってきましたが、人手不足や高齢化などもあり、そろそろ皆さんの力をお借りしたいと思っています。

内容は学生時代の思い出、最近の出来事、趣味のこと、これまでの歩み、そしてこれからの夢など…。特別なことでなくても構いません。

あなたのことばには、きっと誰かを元気づけたり、懐かしい気持ちにさせる力があります。

文章は800～1200字ほど、写真やイラストなどがあれば、ぜひ一緒にお送りください。湘南稲桜会だよりは、みなさんと作っていくものです。ぜひ、あなたの思いを届けてください。ご協力、心よりお待ちしております。

今回は、齋藤道生氏、大川晶子氏から投稿いただきましたありがとうございました。

〈研修会のお知らせ〉

本年度の研修会スケジュールが下記の通り決まりました。昨年行ったアンケートでは貸し切りバスを使った遠出より食事会、観光などでよいとの意見も多くありましたので、今回は身近で意外に知られていない横須賀市のヴェルニー公園の見学とお寿司を食べながらの懇親会を計画しました、ご家族、お友達お誘いの上、秋の一日をのんびりと過ごされてはいかがでしょうか? ご案内申し上げます。

日 程 令和7年10月25日(土)

集 合 JR 横須賀駅

集合時間 11時30分

行 程 ヴェルニー公園:

ヴェルニー記念館
戦艦「陸奥」の主砲
逸見波止場衛門
小栗広場
バラ園
ティボディエ邸

12時30分 京急汐入駅側出口

横須賀中央 13時 ひさご寿司魚の館
解散は15時ごろ
懇親会費 4000円
申込期限 10月15日

「ヴェルニー公園」は、フランスの海軍技師ヴェルニーが建設に貢献した横須賀製鉄所跡地(現米海軍横須賀基地)を対岸に望む、フランス庭園様式を取り入れた公園として整備されました。園内には、ヴェルニー記念館、ヴェルニーと小栗上野介の胸像や、広場を中心にフランス式花壇や噴水、洋風あずまやティボディエ邸などが設けられ、フランスの品種を中心とした約130品種・約1,300株のバラが彩りを添えています。春と秋には色とりどりのバラが咲き誇り、訪れた人々を魅了しています。海沿いにはボードウォークがあり、潮風の中で散歩を楽しめます。園内からは横須賀本港を一望でき、係留されている多くの艦船を見ることができます。公園から見て、右手に米海軍横須賀基地、左手に海上自衛隊地方総監部が望めます。



ヴェルニー公園

〈訃報〉

当会の校友がご逝去されました。謹んでご冥福をお祈りします。

梅 澤 稔 様
昭和33年農学科卒業
令和7年4月1日

平成11年から平成23年まで
当会会長を務められ会の発展に
尽くされました。



【編集後記】

今年の夏は連日厳しい暑さが続きましたが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。湘南稲桜会だよりも、今回で第47号となりました。今号では、会員の皆さまから寄せられた温かい投稿を中心に、総会や研修会の開催結果などで作成しました。少しでも農大卒業生の絆を感じていただければ幸いです。次号でも多くの会員皆様の投稿をお待ちしております。

(事務局)